

有識者からの発表

「現代美術活動を通じた島の活性化」
～ベネッセアートサイト直島の活動の軌跡～

株式会社ベネッセホールディングス

直島事業室長 笠原 良二

今後の瀬戸内海の水環境の在り方懇談会資料

【発表者：株式会社ベネッセホールディングス直島事業室 室長 笠原 良二】

項 目	内 容
1. 発表テーマ	現代美術活動を通じた島の活性化 ～ベネッセアートサイト直島の活動の軌跡～
2. 課題	<p>かつてその美しさを称賛された瀬戸内海ですが、高度成長期を中心にそのしわ寄せを受け、様々な負の部分を受け持ってきました。今でもその傷跡が残っている島々が多くあります。</p> <p>一方で、美しい自然や、文化度の高い暮らし、また都市部にはない暖かい人間関係や豊かな食文化等残っており、日本の原風景と言える魅力を有しています。</p> <p>そのような状況のなか、都市部の利便性を求めての人口流出も続き、過疎高齢化が進んでおり、活気が失われる島が多く瀬戸内海の魅力が失われようとしています。</p>
3. 対応（提案）	<p>「直島」という場で、約20年に亘って現代美術活動を通じて地域の活性化に取り組んできました。あるものを活かしてないものを作るという精神のもと、地域の魅力を再発見し、島民が誇りの持てる地域づくりに貢献してきました。現在では多くの交流人口を持つ島へと変わってきました。</p>
4. 今後の瀬戸内海の方 向性について	<p>瀬戸内海の魅力語る際、「多島美」という表現が使われることが多々あります。しかし、その視点は、瀬戸内海を広く俯瞰して見たり、場合によっては本土側から見渡しての表現でしかなく、瀬戸内海の魅力の一面ではありますが、全てではありません。実は、その多島美を構成する島ひとつひとつに、それぞれの人々の暮らしや歴史があり、様々な魅力ある資源を持っています。（もちろん、無人島も多々ありますが。）</p> <p>瀬戸内海の水環境を考える上で、まずは、それぞれの島の人々の暮らしを知ることが大切なのではないでしょうか。そして、その島の暮らしを支える環境としての瀬戸内海のあるあり方という視点も重要だと思います。</p> <p>併せて、それぞれの島の持つ魅力を再発見し磨きあげ、人々の暮らしを軸とした島の活性化を実現することも重要だと考えています。そのことで、対岸と島々、都市と島々、さらには島同士の交流が活発となり、それら各種交流の基盤としての瀬戸内海的重要性が再認識されるはずであり、水環境のあり方の重要性を問う機会にもなると思います。</p>

第3回今後の瀬戸内海の水環境の在り方懇談会

現代美術活動を通じた島の活性化 ～ベネッセアートサイト直島の活動の軌跡～

2010.12.3
㈱ベネッセホールディングス
直島事業室
笠原良二

直島の紹介

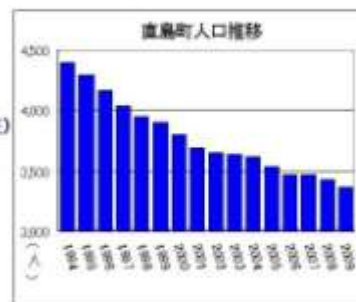


第3回今後の瀬戸内海の水環境の在り方
懇談会

3

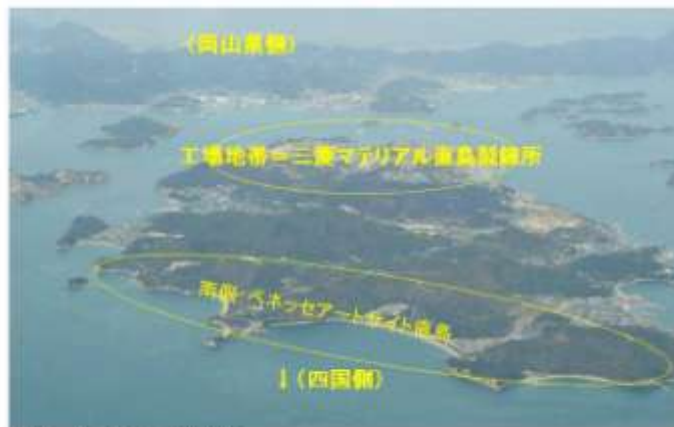
直島の紹介

- 香川県香川郡直島町
- 面積：約14km²(本島約8km²)
- 人口：3,365人(2009年1月1日現在)
 - ・最盛期人口約7,800人(1960年代)
 - ・特に若年層が減少
 - ・最近やや減少に値止めが
- 世帯数：1,501世帯
- 産業：工業中心。漁業(養殖業【はまち・海苔】)も盛ん。



第3回今後の瀬戸内海の水環境の在り方
懇談会

3

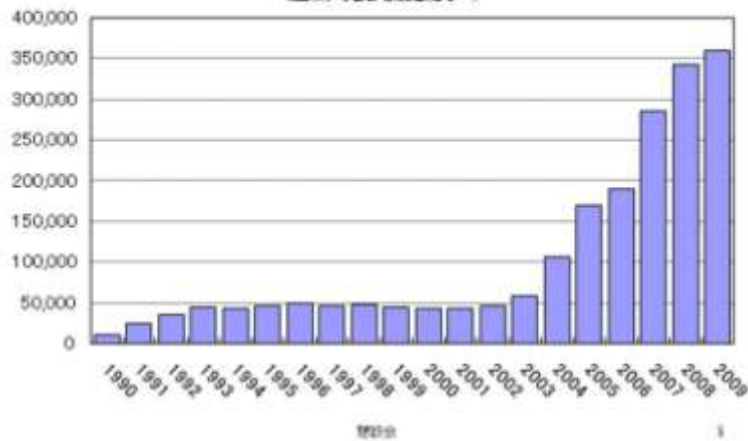


ベネッセアートサイト直島
⇒直島の南部一帯と無人島を含め約1.65km²を所有

第3回今後の瀬戸内海の水環境の在り方
懇話会

直島町観光客等入込数

(直島町観光協会調べ)



懇話会

外国人観光客数 (2009年度ベネッセハウス宿泊者数より)



第3回今後の瀬戸内海の水環境の在り方
懇話会

外国人観光客数

1位	アメリカ	
2位	韓国	
3位	フランス	

ここ数年上位3カ国は変わらず

第3回今後の瀬戸内海の水産物の在り方
懇話会

9

2008年度JNTO日仏交流150周年事業

<最重点地域>

- 厳島神社
- 熊野古道&高野山
- 金沢
- 直島



第3回今後の瀬戸内海の水産物の在り方
懇話会

8

ミシュラン観光版(ギード・ペール)日本編 2009

【日本全国】
3つ星 : 56カ所
2つ星 : 189カ所
1つ星 : 301カ所

2つ星 : 家プロジェクト
1つ星 : 直島
ベネッセハウス
地中美術館
南寺(家プロジェクト)

香川県下には全部で11個の星



「ギード・ペール」の表紙
(ミシュラン提供)

第3回今後の瀬戸内海の水産物の在り方
懇話会

9

三宅親連元町長のまちづくり基本構想

三宅親連 元町長

1909年2月14日生まれ
1999年2月22日逝去(享年90歳)

1959年50歳で初当選
連続9期36年在職 1995年引退



・北部: 三菱マテリアル直島製錬所を中心とした産業エリア

・中央: 生活&教育エリア

・南部: 瀬戸内海国立公園を生かした文化・リゾートエリア

第3回今後の瀬戸内海の水環境の在り方
懇話会

10

直島北部＝産業エリア

- 三菱マテリアル株直島製錬所を中心とした一大工場地帯
- 大正時代から銅の製錬所として約90年間にわたって操業中
- 月約5トンの金を生産。その他銅、銀、プラチナ等を生産
- 2003年 エコタウンプランの承認
- 同年 香川県の豊島産廃中間処理施設が稼働



第3回今後の瀬戸内海の水環境の在り方
懇話会

11

直島中央部＝生活&教育エリア

- 幼小中一貫教育
- 建築家石井和雄氏による学校建築群
- 直島小学校(1971年～)
- 幼保一元教育の実践(1974年～)
- 町民体育館・武道館(1976年～)
- 直島中学校(1979年～)



左上 直島小学校
左 直島中学校
上 直島幼児学園

第3回今後の瀬戸内海の水環境の在り方
懇話会

12

直島南部＝文化・リゾートエリア

直島町長三宅親達の直島南部開発の夢

1934年 瀬戸内海国立公園に指定(霧島・雲仙とともに日本初)
⇒観光開発は期待されたほど進まず。

**直島南部一帯を総合的に、清潔・健康・快適な
観光地として開発したい。**

1960年 藤田観光小川栄一社長との出会い



⇒町が呼びかけ南部一帯の土地を取りまとめ。
藤田観光による用地取得
1966年 「藤田無人島パラダイス」オープン
1976年 藤田観光の事実上の撤退

⇒約10年間、理想のパートナーを待つことに

第3回今後の瀬戸内海の水環境の在り方
懇話会

13

直島南部＝文化・リゾートエリア

福武哲彦株式会社福武書店創業社長の夢

**瀬戸内海の無人島に、世界中のこどもが集い
楽しむキャンプ場をつくりたい。**



・全国の進研ゼミ会員のこどもたちの存在
・自身が元小学校教員
・本社が岡山(瀬戸内海は地元)
→瀬戸内海の島を調査

第3回今後の瀬戸内海の水環境の在り方
懇話会

14

直島南部＝文化・リゾートエリア



1985年11月 福武哲彦社長 直島視察

第3回今後の瀬戸内海の水環境の在り方
懇話会

15

直島南部＝文化・リゾートエリア

1986年4月

福武哲彦急逝

→福武総一郎新社長による直島開発の継承

1987年3月

藤田観光から福武書店へ土地の一括譲渡

1988年8月

「直島文化村構想」発表

⇒人と文化を育てる場を作る。

⇒リゾート開発とは一線を画す。

第3回今後の瀬戸内海の水環境の在り方
懇話会

14

ベネッセアートサイトの主な出来事

年月	主な出来事
1987年 3月	土地一括購入
1987年 7月	第1回「チャレンジ・ザ・サマー」開催
1988年 8月	「直島文化村構想」発表
1989年 7月	直島キャンプ場オープン
1990年 10月	ベネッセハウスの竣工式
1992年 7月	ベネッセハウス(ミュージアム)オープン
1994年 9月	Open House of Bounds
1995年 7月	ベネッセハウス(現オーバル)完成
1995年 10月	トランクルーム 備後報告展―誰かなるデバングヘー
1998年 3月	家プロジェクト「ユク」完成
1999年 3月	家プロジェクト「寺」完成
2001年 8月	家プロジェクト「んざ」完成
2001年 9月	スタンダード
2002年 10月	家プロジェクト「王神社」完成
2004年 7月	地中美術館「アト」完成
2006年 7月	ベネッセハウス(新館)オープン

第3回今後の瀬戸内海の水環境の在り方
懇話会

17

子供たちのキャンプ場

第3回今後の瀬戸内海の水環境の在り方
懇話会

18

1989年～2005年 直島国際キャンプ場
監修:安藤忠雄/パオ+テント施設



第2回今後の瀬戸内海の水環境の在り方
懇話会



チャレンジ・ザ・サマーin直島(1987年～1999年)

第2回今後の瀬戸内海の水環境の在り方
懇話会

ベネッセハウスと現代アート

第2回今後の瀬戸内海の水環境の在り方
懇話会

ベネッセハウスと現代アート

「Benesse=よく生きる」の導入と Benesse House

- 1990年 フィロソフィーブランド(企業理念)「Benesse」を導入
- 1992年 Benesse House オープン
- 1995年 「福武書店」から「Benesse Corporation」に社名変更

「自然」と「アート・建築」と「人」をコンテンツとし、
「Benesse」を考え、体験する場所を創る

第3回今後の瀬戸内海の水環境の在り方
懇話会

22

1992年 ベネッセハウス ミュージアム

設計: 安藤忠雄 / 現代美術館+ホテル



第3回今後の瀬戸内海の水環境の在り方
懇話会

23

1995年 ベネッセハウス オーバル

設計: 安藤忠雄 / ホテル



第3回今後の瀬戸内海の水環境の在り方
懇話会

24

直島のアートのキーワード

サイトスペシフィックワーク【sitespecific work】

⇒場(site)固有の(specific)作品(work)

- ・瀬戸内の景観と現代アート
- ・安藤忠雄の建築空間と現代アート

コミッションワーク【commission work】

⇒依頼をして(commission)作り出された作品

第2回今後の瀬戸内海の美術館の在り方
懇話会

23



南瓜／草間彌生

第2回今後の瀬戸内海の美術館の在り方
懇話会

24



三枚の正方形／ジョージ・リッキー

第2回今後の瀬戸内海の美術館の在り方
懇話会

27



シップヤード・ワークス／大竹伸朗

第2回今後の瀬戸内海の水環境の在り方
懇話会

28



茶のめ／片瀬和夫

第2回今後の瀬戸内海の水環境の在り方
懇話会

29

地域と現代アート

第2回今後の瀬戸内海の水環境の在り方
懇話会

30

地域創りと現代アート 家プロジェクトとスタンダード展

- 「Benesse（よく生きる）」を考える上で必要なコンテンツ
⇒「自然」「アート・建築」「人」+「歴史」「生活」

「あるものを壊し新しいものを創る」から
「あるものを活かし、新しいものを創る」へ

家プロジェクト

直島の本村地区に残る古い民家を
修復・保存・復元させながら、
現代美術の空間として再生させるプロジェクト

第1期 1997年～2001年 4軒
第2期 2006年～2007年 3軒



1998年「角屋」



第2回今後の瀬戸内海の水環境の在り方
懇話会

34

1998年「角屋」



第2回今後の瀬戸内海の水環境の在り方
懇話会

35



Sea of Time '98 宮島達男

第2回今後の瀬戸内海の水環境の在り方
懇話会

36



第2回半後の瀬戸町商の水曜場の在り方
懇話会

27



第2回半後の瀬戸町商の水曜場の在り方
懇話会

28



第2回半後の瀬戸町商の水曜場の在り方
懇話会

29



第2回今後の瀬戸河原の水環境の在り方
懇話会

40

1999年「南寺」



第2回今後の瀬戸河原の水環境の在り方
懇話会

41

1999年「南寺」



第2回今後の瀬戸河原の水環境の在り方
懇話会

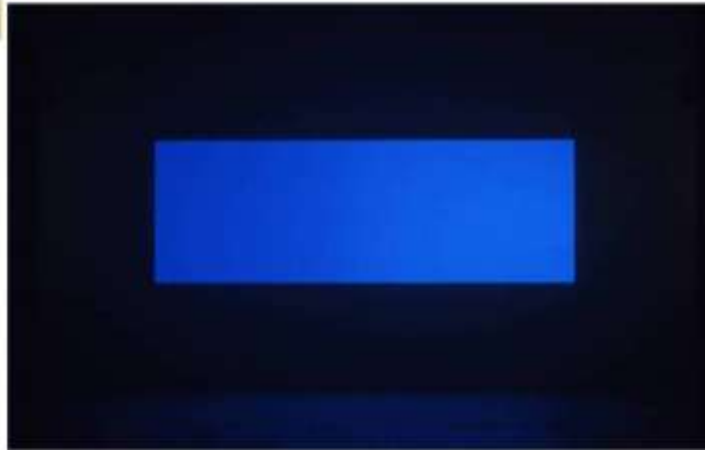
42

1999年「南寺」



第2回今後の瀬戸内海の水環境の在り方
懇話会

40



Backside of the Moon / ジェームズ・タレル

第2回今後の瀬戸内海の水環境の在り方
懇話会

44

2001年「きんざ」



第2回今後の瀬戸内海の水環境の在り方
懇話会

45

2001年「きんざ」



第2回今後の瀬戸町内の水環境の在り方
懇話会

46



「このことを」/内藤礼

第2回今後の瀬戸町内の水環境の在り方
懇話会

47

2002年「護王神社」



第2回今後の瀬戸町内の水環境の在り方
懇話会

48

2002年「護王神社」



第3回今後の瀬戸内海の水環境の在り方
懇話会



Appropriate Proportion / 杉本博司

第3回今後の瀬戸内海の水環境の在り方
懇話会

スタンダード展(2001)



第3回今後の瀬戸内海の水環境の在り方
懇話会



第2回今後の瀬戸町商の水産物の在り方
懇話会

52



第2回今後の瀬戸町商の水産物の在り方
懇話会

53



第2回今後の瀬戸町商の水産物の在り方
懇話会

54

第1回直島スタンダード展 ボランティアスタッフ



第1回今後の瀬戸内海の水曜日の在り方
懇話会

55

深化

第1回今後の瀬戸内海の水曜日の在り方
懇話会

56

地中美術館

- 2004年 財団法人直島福武美術館財団により設立・運営
安藤忠雄
クロード・モネ
ジェームズ・タレル
ウォルター・デ・マリア
- 4人の芸術家

直島におけるアートの核・中心

第1回今後の瀬戸内海の水曜日の在り方
懇話会

57

2004年 地中美術館

財団法人福武直島美術館財団／設計：安藤忠雄



第2回今後の瀬戸内海の美術館の在り方
懇話会

38



「タイム/タイムレス/ノー・タイム」/ウォルター・デ・マリア

第2回今後の瀬戸内海の美術館の在り方
懇話会

39



オープン・フィールド/ジェームズ・タレル

第2回今後の瀬戸内海の美術館の在り方
懇話会

40



睡蓮／クロード・モネ

第3回今後の瀬戸内海の水産物の在り方
懇話会

41

ベネッセハウス パーク&ビーチ

- 2006年5月オープン
- 安藤忠雄設計
- 木造のホテル

ベネッセハウス4つの棟に再編

「ミュージアム」「オーバル」「パーク」「ビーチ」

「よく生きるとは何か」をじっくり考えていただくためには、直島でゆっくりと時間をすごしていただくことが必要である。
宿泊することの重要性の再認識

直島における宿泊の中心

第3回今後の瀬戸内海の水産物の在り方
懇話会

42

2006年5月ベネッセハウス新館 設計：安藤忠雄／ホテル



第3回今後の瀬戸内海の水産物の在り方
懇話会

43

地域での出来事

島内での様々な動き

- 屋号プロジェクト⇒屋号表札&屋号マップ



- 直島町景観審議会発足
- 特産品開発協議会発足

島内での様々な動き

- トイレボランティア



島内での様々な動き

■ 観光案内ボランティア



第3回今後の瀬戸内海の水産博覧会
開催中

47

島内での様々な動き

■ のれんプロジェクトスタート



第3回今後の瀬戸内海の水産博覧会
開催中

48

島内での様々な動き

■ カフェまるやオープン ⇒ 飲食店の開業



第3回今後の瀬戸内海の水産博覧会
開催中

49

島内での様々な動き

本村地区新規オープンした飲食店

2004年	3月	カフェまるや
	4月	玄米食心あいすなお 美乃
2006年	6月	茶寮おおみやげ
	7月	石井商店
	8月	和カフェぐう
2007年	2月	ひいな



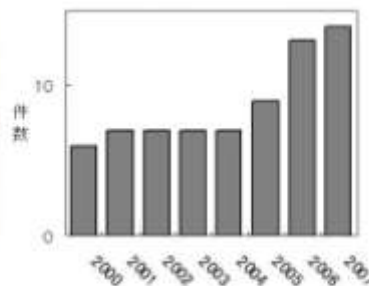
第2回今後の瀬戸内海の水産物の在り方
懇話会

70

島内での様々な動き



直島町内宿泊施設数



第2回今後の瀬戸内海の水産物の在り方
懇話会

71

家プロジェクトの3軒追加(2007.9. 28~)

- 2006年10月~2007年4月開催の「直島スタンダード2」、「石橋」(千住博)、「暮会所」(須田悦弘)、「はいしゃ」(大竹伸朗)の3軒を、家プロジェクトと同じ手法により制作し公開。常設公開へ。



「石橋」千住博



「暮会所」須田悦弘



「はいしゃ」大竹伸朗



第2回今後の瀬戸内海の水産物の在り方
懇話会

72

2009年 直島銭湯「I♡湯」
財団法人福武直島美術館財団／大竹伸朗



第2回今後の瀬戸内海の水環境の在り方
懇話会

73

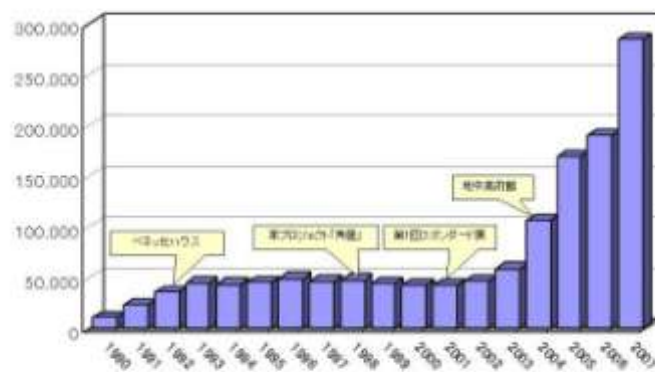
2010年 李禹煥美術館
財団法人福武直島美術館財団／安藤忠雄



第2回今後の瀬戸内海の水環境の在り方
懇話会

74

直島町観光等入込数動態調査
(直島町観光協会調べ)



第2回今後の瀬戸内海の水環境の在り方
懇話会

75

発信事例

第2回今後の観光分野の水増しの在り方
懇話会

74

Conde Nast TRAVELER (2000年4月号)



第2回今後の観光分野の水増しの在り方
懇話会

77

カーサブルータス マガジンハウス (2003年11月号)



第2回今後の観光分野の水増しの在り方
懇話会

78



瀬戸内海の瀬戸内海の水産物の在り方
研究会

瀬戸内海へ

瀬戸内海の瀬戸内海の水産物の在り方
研究会

瀬戸内アートプロジェクト 直島～豊島～犬島



瀬戸内海の瀬戸内海の水産物の在り方
研究会

2008年 犬島アートプロジェクト「精錬所」

設計: 三分一博 / 美術作品: 柳幸典



瀬戸内海の瀬戸内海の水環境の在り方
懇話会

82

2010年 豊島美術館/豊島

設計: 西沢立衛 / 美術作品: 内藤礼



瀬戸内海の瀬戸内海の水環境の在り方
懇話会

83

瀬戸内国際芸術祭2010

アートと海を巡る百日間の冒険

- 会期
 - 2010年7月19日(祝)～10月31日(日)
 - 約100日間
- 開催地
 - 瀬戸内海の7つの島(直島、豊島、女木島、男木島、小豆島、大島、犬島) + 高松
- 主催
 - 瀬戸内国際芸術祭実行委員会
 - 会長 美納武紀
 - 総合プロデューサー 福武雄一郎
 - 総合ディレクター 北川フラム



瀬戸内海の瀬戸内海の水環境の在り方
懇話会

84

A R T
S E T O U C H I
2 0 1 0



瀬戸内国際芸術祭「アートと海を巡る百日間の冒険」

第3回以降の瀬戸内海の水環境の在り方
懇話会

83

海の復権

1. アート・建築	2. 民俗・生活 → 地域と時間と住民（島のお年寄りの元氣）
3. 交流 - 日本全国・世界各地の人々が関わる	4. 世界の観智が集う
5. 次代を担う若者や子どもたちへ	6. 縁をつくる

第3回以降の瀬戸内海の水環境の在り方
懇話会

84



A R T
S E T O U C H I
2 0 1 0

瀬戸内国際芸術祭2010 Setouchi International Art Festival
2010.10.10(土)開幕 - 2011.02.28(日)閉幕
瀬戸内国際芸術祭実行委員会 瀬戸内国際芸術祭事務局

第3回以降の瀬戸内海の水環境の在り方
懇話会

85



